

髄膜炎菌 4 種混合ワクチン Meningococcal Quadrivalent Vaccines

予防接種は過去 50 年間、カナダにおいて他のどの健康対策よりも多くの命を救ってきました。

髄膜炎菌4種混合ワクチンとは何か？

髄膜炎菌 4 価ワクチンは、A 型、C 型、Y 型、W 型の 4 種類の髄膜炎菌から身を守るワクチンで、多糖類ワクチンと結合型ワクチンの 2 種類があります。BC 州で使用されている結合型ワクチンは、病気に対する予防効果をより長く持続させます。このワクチンは、カナダ保健省により承認されています。

誰が髄膜炎菌 4 価型ワクチンを接種すべきか？

ワクチンは、グレード 9 の子供たちに無料で提供されます。

また、下記の症状のある方など、髄膜炎菌感染症のリスクが高い小児および成人には、無料でワクチンが提供されます：

- 脾臓がない、または脾臓の働きが悪い方
- 補体、プロペディン、D 因子または一次抗体の欠乏などの免疫系障害のある方
- 脾臓細胞移植または固形臓器移植を受けている方、または移植を待っている方
- 幹細胞移植を受けた方
- 髄膜炎菌 A 型、Y 型、W 型のいずれかの感染者と密接に接触したことがある、または BC 州での流行時にこれらに感染するリスクがあると公衆衛生局により判断された方。

以下の方は、ワクチンの接種が推奨されていますが、無料ではありません。

- 髄膜炎菌に日常的に晒される実験室勤務者
- 軍関係者
- 髄膜炎菌感染症のリスクの高い地域に居住または旅行している方

リスクの高い旅行地域に関する情報は、トラベ

ルクリニックにお問い合わせください。

ワクチンは通常 1 回の接種です。人によっては、ワクチンの追加接種が必要な場合もあります。さらに接種が必要かどうか、いつ接種を受けるべきかについては、医療提供者にご相談ください。

無料ワクチンの対象ではないが、髄膜炎菌 A、C、Y、W 株の予防を希望する人は、ほとんどの薬局やトラベルクリニックでワクチンを購入することができます。

全ての予防接種を記録することは重要です。

ワクチンの恩恵とは？

ワクチンは、重篤で時に死に至る病気である髄膜炎菌感染症から身を守るための最良の方法です。

ワクチンを接種することで、周りの人を保護することにもつながります。

ワクチン接種後に起こりうる副作用とは？

ワクチンは非常に安全です。髄膜炎菌感染症にかかるより、ワクチンを接種する方がずっと安全です。

ワクチンによる一般的な副作用には、ワクチン接種箇所の痛み、発赤、腫れなどがあります。また、ワクチン接種後に頭痛、筋肉痛、疲労感、悪寒、発熱、吐き気などが起こることがあります。これらの副作用は軽度で、通常 1 日から 2 日続きます。

発熱や痛みには、アセトアミノフェン（タイレノール®など）やイブプロフェン*（アドビル®など）を服用することができます。ASA（例：アスピリン®）は、ライ症候群のリスクがあるため、18歳未満の人は服用しないでください。

*かかりつけ医との相談なしに、イブプロフェンを、生後6か月未満のお子様に服用させないでください。

ライ症候群の詳細は、[ヘルスリンク BC ファイル #84 ライ症候群を参照ください](#)。

100万人に1人未満の割合と、アナフィラキシーと呼ばれる命に関わるアレルギー反応がでる可能性は非常にまれですが、反応が出た場合に備え、ワクチン接種後15分間は診療所に滞在することが重要です。アナフィラキシーの症状には、蕁麻疹、呼吸困難、咽喉、舌、唇の腫れなどがあります。これらの症状が出た場合、医療提供者は治療することができます。緊急治療にはエピネフリン(アドレナリン)の投与と救急車での最寄りの救急科への搬送が含まれます。診療所を去った後に症状が出た場合、**9-1-1**または地域の緊急電話番号にお電話ください。

重度または予期しない副作用は、かかりつけの医療従事者に常に報告してください。

ワクチンを接種するべきでない人とは？

あなた自身や子供が、以前に接種した髄膜炎菌ワクチン、または髄膜炎菌4価結合型ワクチンの一部に対して生命を脅かすような反応を起こしたことがある場合は、医療提供者に相談してください。

風邪などの軽い病気を理由に予防接種を遅らせる必要はありません。ただし、心配な場合は、医療機関に相談してください。

髄膜炎菌感染症とは何か？

髄膜炎菌感染症は、細菌によって引き起こされる感染症です。A、C、Y、W型の髄膜炎菌感染症は、BC州では非常にまれですが、脳を覆う膜

の感染症である髄膜炎や血液の感染症である敗血症など、生命を脅かす重篤な感染症を引き起こす可能性があります。100人の感染者のうち、たとえ治療を受けても最大15人の感染者が亡くなります。感染による永久的な合併症として、脳障害、難聴、手足の欠損などがあります。

髄膜炎菌感染症は、咳やくしゃみ、対面での密接な接触によって人から人へ感染します。また、唾液を介して感染することもあります。キスや、食べ物、飲み物、タバコ、口紅、水筒、スポーツで使うマウスガード、楽器のマウスピースなどの共有といった行為で発生することがあります。

成熟した未成年者の同意

予防接種の同意について、ご両親または保護者の方とお子様で話し合うことが推奨されています。それぞれのワクチンによる恩恵と起こりうる副作用、および予防接種を受けない場合のリスクが理解できる19歳未満の子供は、法的にワクチン接種に対し、同意あるいは、拒否することができます。成熟した未成年者の同意の詳細については、[ヘルスリンク BC ファイル#119 乳幼児法、成熟した未成年者の同意および予防接種](#)をご確認ください。



BC Centre for Disease Control
Provincial Health Services Authority

ヘルスリンクBCファイルトピックスに関する詳細は、www.HealthLinkBC.ca/more/resources/healthlink-bc-filesをご確認いただくか、最寄りの公衆衛生局へお立ち寄りください。緊急を要しないBC州における健康情報および助言については、www.HealthLinkBC.caをご覧ください。8-1-1(フリーダイヤル)までお電話ください。聴覚障害者の方および耳の不自由な方は、7-1-1へお電話ください。ご希望により、130以上の言語で翻訳サービスがご利用いただけます。